

「なぜ浅草はにぎわうのか」

先週の日曜日、春を感じさせる陽気に誘われて、妻と浅草に出かけた。11時過ぎに着いたのだが、すでに街は大勢の人でにぎわっていた。二人で浅草に行くと、まずお昼を食べて、次に浅草寺にお参りし、ぷらぷらと歩いて、甘味処に入るパターン。この日はコロナ禍も落ち着き始めたためか、予想以上に街には人があふれていた。浅草寺から雷門の方を振り返ると、人の列で仲見世が埋まって見えるほどだ。正月でも縁日でもないのに、人が集まる不思議な場所、浅草。さらに、外国から旅行者・インバウンドも多いようで、日本語でない言葉もあちこちで聞こえてくる。昼間なのに、道に張り出したアルコールを提供する店は満席。こんな時間から宴会なのか。東京で最も人気のある観光地。浅草の魅力は何だろうか。

まずは、浅草寺。奈良や京都にある神社・仏閣のように、歴史の教科書に載る寺院ではない。しかし、創建は古く飛鳥時代、東京では最も古い寺院である。宮戸川、現在の隅田川で漁をしていた漁師の網にかかった一体の仏像、それが本尊の聖観音像であり、多くの人の信仰を集めている。ちなみに、この寺は中国経由で伝えられた仏様が祀られている場所なので、中国風の読み方である音読みで「せんそうじ」という。一方、隣にある神社は日本古来の神様を祀っている場所なので、日本風の読み方である訓読みで「あさくさじんじゃ」だそうだ。

また、ここは老舗といわれる古くからの飲食店も多い。また、ネットで紹介されているのだろうか、最近できたような店には若者の長い列ができています。仲見世には、扇子・箸・はちまき・団子・せんべいなど、外国の人が日本をイメージしたときに出てくるものが、これでもかというほど売られている。ネットには「昔ながらの日本の雰囲気を感じられることが浅草最大の魅力」と書かれている。ここでしか味わえないような、下町のような、縁日のような雰囲気が至る所に漂っているのが、再び訪れたいくなる浅草の魅力なのだろう。

2月28日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 右の計算を成り立たせるように空欄をうめてください。なお、各数字の先頭には「0」は入りません。また、すでに見えている数字と同じ数字が入ることもあります。

$$\begin{array}{r} 7 \quad \square \\ \times \quad \square \quad \square \\ \hline \square \quad \square \quad 7 \\ \square \quad \square \quad 7 \quad . \\ \hline 7 \quad \square \quad \square \quad 7 \end{array}$$